



# 生活環境

HAPPINESS KUMAMOTO

健康を実感できる  
「安全で健やかなまちづくり」



今私たちのまわりでは、地球的規模での環境問題の解決が国際的な課題となるとともに、身近な環境においても自然環境の積極的な保全や快適な環境の創造などが強く求められています。

このため、広く環境全般にわたる施策を展開しています。

### 公害防止対策の啓発

公害防止対策を円滑に進めていくためには、工場・事業場はもちろん市民の皆様のご理解とご協力が必要です。

熊本の青い空、きれいな水など良好な生活環境を守るため、「アイドリングストップ運動」の推進や生活排水対策モデル地区での浄化活動を展開しています。

### 公害防止対策の推進

公害防止対策の基本は、未然防止です。そこで、工場・事業場の建設時における事前指導の徹底を図り、

未然防止対策に努めています。

近年の自動車交通に伴う公害防止対策として熊本都市圏自動車交通クリーン推進計画に基づき事業を推進しています。

また、中小企業の方を対象とした施設改善のための公害防止融資資金制度の活用を積極的に進めています。

### 環境汚染監視体制の強化

人の健康と密接に結びついている大気や水質などの状況を迅速、的確に把握するため、大気測定局の整備や水質汚濁、騒音などの監視体制の充実を図り、市民が安全で健やかに過ごせる生活環境の保全に努めています。

### 環境衛生

近年、食品流通の広域化や長期化、輸入食品の増加、施設の近代化、生活様式やニーズの多様化の中で、市民が真にゆとりと潤いに満ち、豊かさと幸せを実感できるようなまちづくりが求められています。

このような状況の中で、市民の日常生活に密接に関係する衣・食・住の全般にわたって、快適で安心できる生活を確保するため、食品衛生、環境衛生の科学的監視指導体制の充実強化により、業界の自主管理活動を支援するとともに、営業者・市民・行政の三者による新たな生活衛生思想の構築に努めます。

一方、環境衛生事業所では、地域団体の活動と連携して、防疫、ねずみ・衛生害虫の駆除及び除草指導等を行い、清潔な環境づくりを進めるとともに環境の美化に努め、健康な市民生活を支える快適な環境づくりの一翼を担っています。

### 墓地・斎場

本市は、7カ所の市営墓地(園)と納骨堂1カ所を管理し、永眠された祖先の安住の地として市民に利用されています。

また、斎場は、築後24年を経過し、施設の老朽化が目立つようになったため、周辺環境との調和のとれた近代的な新斎場の建設を進めています。

## 豊かな人間関係を保つ 「心のかようまちづくり」

温かいふれあいのある家庭や地域、いじめのない学校など、人間性を育て、また世界的な視野に立った交流や助け合いのできる都市を目指します。





## 地域福祉

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」

住み慣れた地域で、家族や近隣の人々とのふれあいに包まれて暮らせる社会の実現は、誰もが願うところです。

手助けを要する高齢者や障害者も、家庭や地域で社会の一員として暮らしていけるよう、周囲の人々の地域連帯感に根ざした取り組みを積極的に支援するなど、地域福祉の増進に努めています。

### 地域福祉コミュニティセンター

地域住民主体による福祉活動を支援するとともに、交流活動など各種地域づくり活動の振興に資するため

その拠点施設として整備しているものです。これまでに18ヵ所のセンターがオープンしており、今後も地域福祉活動の向上を図るため施設整備を進めていく予定です。

### 財熊本市福祉公社ヒューマンライフ

増大する在宅福祉ニーズに対応するため、市民の参加と協力を得て、家事や介護などのホームヘルプサービスを中心に、情報の提供・相談などのサービスを提供します。

### 在宅福祉センター

在宅の虚弱老人や心身障害者およびその家族の方々のために、デイサービスやホームヘルプサービス、在宅介護に関する相談など総合的に在宅福祉サービスを提供する拠点施設として、南部地区と東部地区に続き、中央地区にも平成9年度開設しました。

### 社会福祉協議会

地域住民の助け合い、支え合いの精神に根ざした地域福祉の推進に取り組んでいます。「いきいき市民福祉

基金」を設置し、地域福祉活動を行う様々な組織、団体などに対して助成を行っています。また、「ボランティア保険」を導入し安心してボランティア活動ができるよう支援しています。

このほか、ひとり暮らし老人等の家庭に、心のこもった食事を届ける「ふれあいランチ給食サービス」事業への助成や、悩みごと、心配ごとの相談に応じ、適切な助言や情報の提供を行う「熊本市心配ごと相談所」の設置など、地域福祉のための各種事業を展開しています。



砂取地域福祉コミュニティセンター



## 高齢者福祉

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」



在宅改造費助成事業による段差解消機



シルバースポーツフェスティバル

### 生きがい健康づくりの支援

高齢者が、いつまでも健康でいきいきと暮らすために、老人農園や生きがい作業所、シルバー文化作品展等趣味教養の活動を促す事業をはじめ、地域活動の拠点となる老人クラブ活動への支援、シルバースポーツフェスティバル、シルバーゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会等のスポーツ大会の開催、さらに市内の公共交通機関が無料で利用できるさくらカードの発行等、生きがい健康づくりと社会参加への支援を行っています。

### 要介護高齢者への支援

介護が必要になったり、寝たきりになっても、いつまでも住み慣れた

地域や家庭での生活を支援するためにホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなど在宅福祉サービスの充実を図っています。

また家庭環境や住宅事情、寝たきりなどで在宅での生活が難しい方に対しては、その状況に応じて最適に安心して生活を送れるよう、養護老人ホームや特別養護老人ホーム等の施設の整備を行っています。

24時間体制で介護に関する総合的な相談に応じる在宅介護支援センターの整備を進めています。在宅介護支援センターではサービスの情報を提供し、その申請代行等も行っていきます。



## 障害者福祉

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかまうまづくり」

### 福祉施策の一層の充実 障害者福祉

平成8年9月に策定した「熊本市障害者基本計画」に基づいて事業の推進を図っています。

基本計画の7つの重点施策に沿って、平成9年度は次の事業を拡充しています。

- (1)障害を軽くするために
  - ・心身障害児総合通園センター基

- 本計画の策定を進めています。
  - ・巡回療育相談等を行う障害児(者)療育等支援事業を始めました。
- (2)地域で生活するために
  - ・ホームヘルプサービスでは、難

- 病患者等を対象に加えるとともにサービスの質、量の確保を行っています。
- ・夜間の介護を行う介護人派遣事業では、サービス提供時間の増加を行っています。
- ・身体障害者自立支援事業では、対象者の増加を行っています。
- ・住宅改造費助成事業を始めました。

- (3)社会的に自立するために
  - ・授産施設(2ヵ所)、福祉工場(1ヵ所)の整備に着手しています。

- (4)重度の障害者や高齢者のために
  - ・重症心身障害児施設(定員40人)の整備を行っています。

- (5)精神障害者のために
  - ・福祉タクシー事業や優待証(さくらカード)交付事業で精神障害者を対象に加えています。

- (6)共に生活するために
  - ・福祉副読本を中学1年生に配布しています。
  - ・さくらカードを交付し、社会参加の促進に努めています。

- (7)やさしいまちづくりのために
  - ・施設改良の再点検を行っています。

10年度においてもより一層の事業の拡充に努め、障害(児)者のライフサイクル、ライフステージに応じた施策の拡充、地域支援体制の強化を図ります。



福祉センター希望荘での文化祭風景



## 児童・母子福祉

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまづくり」

21世紀を担うすべての子どもたちが、明るく健やかに成長することを願い、全国に先駆けて熊本市民「こども憲章」を制定しました。また、子育て支援や健全育成活動を行っている団体などに「エンゼル基金」で助成を行い、児童福祉の充実・向上に努めています。

また、母子及び寡婦福祉法の理念に基づき、母子家庭及び寡婦の生活の安定・向上及び福祉の増進を図ることを目的として、児童扶養手当の支給、母子家庭に対する医療費の助成、福祉資金の貸付などの施策を実施しています。

### 保育所

仕事・出産・病気等で子どもの日々の保育が充分にできない保護者のために、129ヵ所の保育所があります。ここでは、集団生活、遊びなどを通して、心身ともに健やかな子どもに育つよう保育内容の充実、向上に努めています。

このほか、乳児保育、障害児保育、延長保育などにも力を入れています。また、一時的保育事業や地域子育て支援センター事業も行っています。

### 児童館

市内に9ヵ所の児童館があります。ここでは、集団で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちのために遊び場を設け、遊びの中から集団生活のルールや楽しさを教えています。

### 母子生活支援施設

母子家庭の保護と経済自立のために2ヵ所の施設があります。ここでは家庭環境をよくし、子どもたちの健やかな成長のため指導援助を行っています。

### 母子福祉センター

母子家庭や寡婦の方々への明るい未来と希望を育むため、各種の相談・技術の習得講座・母と子の絆をより強くするための自主事業等を積極的に展開し、思いやりあふれる地域社会づくりをめざして、母子福祉の一段の向上に全力をあげています。

また、平成8年4月より母子相談員を配置し、相談体制の強化を図っています。

### 助産施設

経済的理由で入院出産の困難な妊産婦のために、軽い負担で利用できる熊本産院があります。ここでは、母親とその子どもの健康と安全管理に努めています。



「キャンプっこ」みんなでつくったお米おいしいよ(本荘保育園)



# 社会保障

HAPPINESS KUMAMATO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」

## 生活保護

生活保護制度は、生活困窮者に最低限度の生活を保障し、併せて自立の援助をすることを主な目的としています。

平成8年度における生活保護世帯の状況は、受給者が5,617世帯、人員が8,131人で保護率は12.55%となっています。

受給世帯の特徴としては高齢者世帯が2,807世帯、傷病・障害者世帯が2,041世帯、次いで母子世帯が415世帯と高齢者世帯の占める割合が高くなっています。扶助の種類においては、医療扶助の占める割合が最も高く、生活扶助、住宅扶助と続いて

おり、高齢化等の社会的事情を反映しています。

地区別にみると、中央部に高齢世帯や傷病世帯、周辺部に母子世帯が多く存在しています。

福祉事務所では、複雑な社会情勢を反映して多様化する保護世帯の問題について、原因やその解決策を考え、自立支援に全力を尽くしています。

## 国民年金

国民年金制度は、昭和34年に発足して以来、30年以上の歳月を経て、物価スライド制・基礎年金制度・各年金を一元化するために基礎年金番号の導入など、充実を図りつつ公平

で長期的な安定を目指す制度として、今日の制度へと発展してきました。

平成8年度熊本市での国民年金受給者は72,371人、年金受給総額は379億円を擁し、市民に広く定着しています。

本市では、豊かな市民生活、特に老後の生活の基盤となる年金権を、すべての市民が確保できるよう、幅広い広報活動を行うほか、職員・国民年金委員・国民年金推進員による戸別訪問等も実施し、制度の普及と保険料収納の強化に努めています。

## 国民健康保険

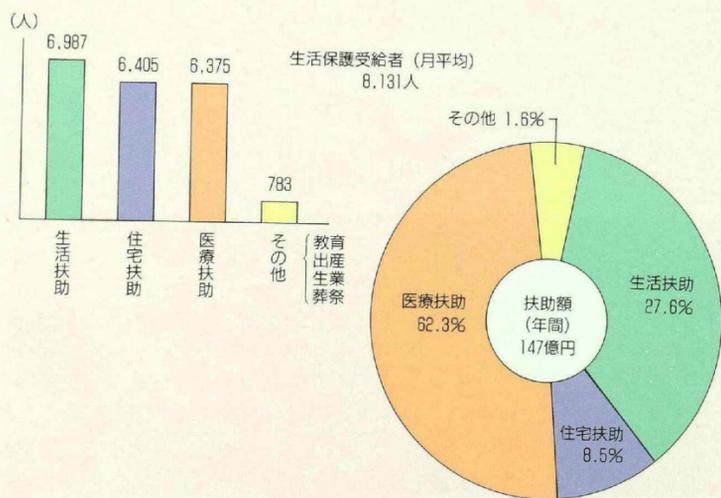
本市の国民健康保険の加入者は、192,351人(平成9年3月末)で、人

口の約30%にあたり、その多くは年金受給者、自営業、農業の方々です。国民健康保険の財政は、高齢化の進展、医療費の増嵩等により依然厳しい状況下にあります。

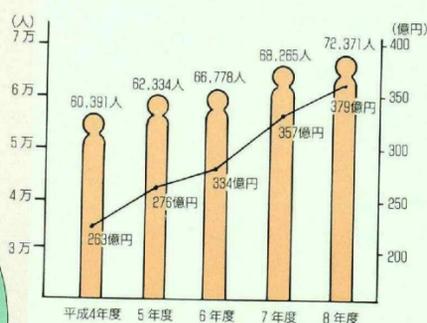
この状況を乗り切るために、保険料収納率向上対策や医療費の適正化を進める一方で、人間ドック助成、あんま・はり・きゅう助成の疾病予防対策事業にも取り組んでいます。

また、重度心身障害者の福祉の向上を図るため、医療費の助成や乳幼児の健全育成を図るため、4歳未満児(3歳児は歯科のみ)の医療費の助成を実施しています。

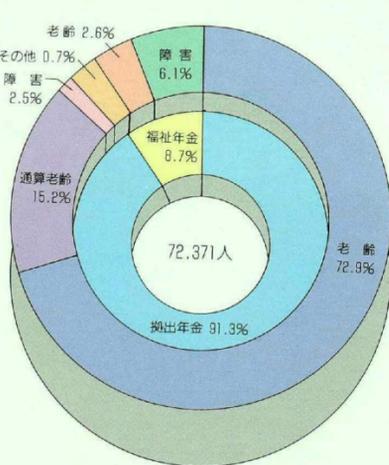
## 生活保護の状況 (平成8年度)



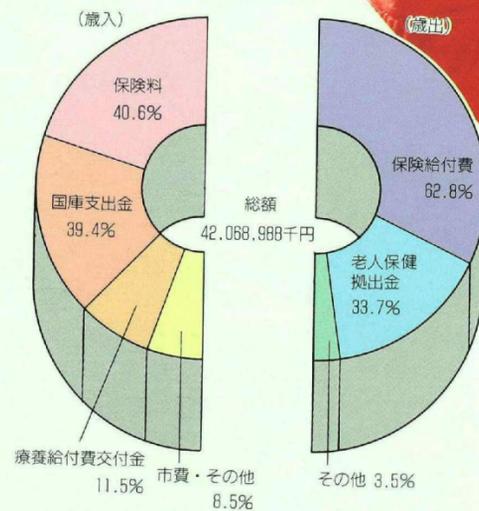
## 年金受給者と受給総額の推移



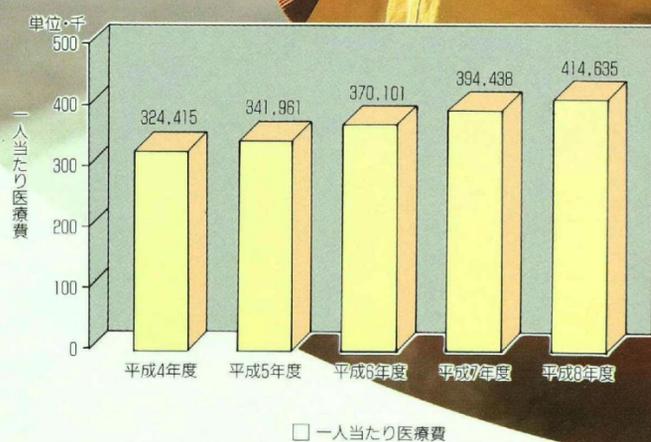
## 年金受給者の種類 (平成8年度)



## 国民健康保険会計 (平成9年度当初予算)



## 一人当たり医療費





## 学校教育

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」



子供たちが進んで取り組む健康づくり（向山小学校）

21世紀の社会を展望し、心豊かな人情味あふれるまちづくりをめざす本市は、愛情と信頼に基づく教育の実践に努めています。学校教育については、生涯にわたって人間形成の基礎となる資質、「豊かな心」と「確かな学力」「健やかな身体」を育てることをねらいとし、一人一人の児童

生徒を大切にするとともに、家庭・地域社会が一体となった教育を推進しています。

### 1. 豊かな心の育成

生命を尊重する心、他者への思いやり、正義感、倫理観などの豊かな心を持った子どもの育成は、いつの世も変わらぬ重要な課題です。

そこで、学校では、道徳教育を中心として、日々の授業の充実をはじめ、野外活動、体験活動などの推進を図っています。特に、「心豊かな学校生活確立推進事業（ハートフル）」や「勤労体験学習」では、学校、家庭、地域社会が連携・協力して取り組み、花の栽培活動、老人や障害者

福祉施設との交流ボランティア活動などを通して子供たちに豊かな心を育てています。

また、全ての教育活動のなかで、人権尊重の精神を基盤とし、部落差別をはじめ、あらゆる差別やいじめをなくしていく意欲と実践力を育てることに努めています。

### 2. 確かな学力の育成

変化の激しい社会を生きていくための基礎・基本の徹底や、問題を解決する能力や応用力を育成することに努めます。

そこで、児童生徒の実態を確実に把握し、指導内容や教材を精選するとともに、具体的な活動や体験を重視する学習の中で一人一人のよさや可能性を伸ばす個性重視の教育をより一層図っていきます。

### 3. 健やかな身体の育成

高齢化社会が進むなか、生涯にわたって心身ともに健康で充実した生活をおくるために、健康教育がますます重要になってきています。

そのために、主体的な運動習慣の形成に努め、体力の向上を図り、健康で安全な生活ができる態度・能力の育成や楽しい給食活動の工夫にも取り組んでいます。

特に、学校体育・学校保健・学校安全・学校給食の各分野の連携を図りながら、健康教育の充実を展開します。



京陵中学校体育館（内部）

## ゆとりと潤いのある教育環境づくり

児童・生徒たちの健やかな成長・発達を促し、豊かな人間性を育み、また、学習をより充実したものとする上で、学校施設の整備を図ることは極めて重要なことです。

近年の社会状況の変化に伴い、個性豊かな人間形成が重要視されており、そのため、学校施設整備においても、量的整備から質的整備への必

要性がますます高まっています。

市では、より豊かな教育環境づくりの構築のために、学習指導方法の多様化に対応できる施設の整備、教育の適正化を図るための過大規模校の分離新設、都市景観と合致した緑豊かな環境整備、体力向上を図るための体育施設の整備拡充、地域住民も利用できる文化性の高い施設づく

りなど、計画的に学校施設の質的整備を図り、開かれた学校づくりを推進しています。

さらに、近年、地球にやさしい環境づくりの一環として、新設校の建設や既設校の全面改築の際には、校舎等の屋根の雨水を集めトイレの洗浄水として再利用する中水道設備の整備、また、高度化・複雑化してい

る現代社会において精神的なダメージを受けやすい子供に「生きる力」と「ゆとり」の教育を展開できる施設として、カウンセリング室を9年度に6校整備しました。

今後も、心身共に健全な児童・生徒を育成するために、ゆとりと潤いのある教育環境づくりを推進していきます。

京陵中学校体育館全景





## 社会教育

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」

### 人権啓発

わたしたちはだれもが、「幸せに生きたい」という願いをもっています。日本国憲法も、すべての国民は生まれながらに、生命・自由及び幸福追求に対する権利を有し法の下に平等であることを保障しています。

しかし、今日なお、部落差別をはじめ、障害者差別・性差別・外国人差別さらには子どもの人権の軽視など、一日も早く解決しなければならぬ人権問題が存在しています。

なかでも、部落差別は日本社会の歴史的発展の過程においてつくりだされた不合理な差別です。結婚などをめぐっては、今なお根強い差別があり、深刻な問題です。

本市では、これらの解決は行政の責務であり、かつ市民一人一人の課題であると受けとめ、差別の解消と人権の確立に向けて積極的に取り組んでいます。

具体的には、市民一人一人が「美しいものを美しいとわかる心」「人のいたみを自分のものとして受けとめられる心」「個性を認め人権を尊重する心や態度」などを身につけ、それらを日常生活で生き方として実践できるように、研修会や講演会の開催、啓発資料の作成、さらには市政だよりの発行等を通して、市民生活のさまざまな場で教育・啓発に力をいれています。



伝承遊び（南部公民館）

### 生涯学習の推進

市民の学習意欲が年々高まる中で、本市では年間延べ約46万人の方々、公立公民館等において生涯学習に取り組んでいます。また、貸館等の利用者を含めると延べ約73万人に達し

ます。

生涯学習社会の実現を目指して、社会の変化や市民のニーズに的確に対応する生涯学習の総合的・効果的な推進を図るため、平成4年8月、熊本市生涯教育基本調査委員会から

「熊本市における生涯教育推進方策」について3項目にわたり提言を受けました。

この提言をふまえ、本市が先に策定した21世紀を展望した「基本構想」「基本計画」における生涯学習の諸施策について取り組んでいます。

### 公民館

専用施設の中央公民館と各地域に複合施設として、西部、南部、東部、龍田、託麻、幸田、清水、秋津、大江、花園、北部、飽田、五福公民館の合わせて14の公立公民館があり、また北部公民館に北部東、西里の2つの分館があります。

このほか、市民の身近な生涯学習の場である地域公民館（公民館類似施設）が417館あり、それぞれ地域の特色を生かした様々な活動を展開しています。

### 博物館

熊本城三の丸地区にある博物館は、自然・人文・理工科学関係資料約5,000点を展示し、これに最新のプラネタリウムを併設した県内唯一の総合博物館です。

また、資料収集・調査等を行うとともに教育普及活動として「古代史講座」をはじめとする各種学習講座の開設、特別展示会を開催するなど多くの人々に利用されています。

平成9年度は「明清の名宝と象牙展」「西南戦争と熊本」の特別展を開催し好評を得ました。



## 青少年の健全育成

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」



金峰山少年自然の家におけるキャンドルの集い

21世紀を担う青少年が心身ともに健やかに育つよう、家庭・地域社会・学校が連携を取りながら、一体となって取り組む必要があります。

### 1. 健全育成活動の推進

青少年健全育成活動の活性化を図るため、家庭教育の充実や青少年団体の育成に力を入れ、指導者の充実

とリーダーの養成に努めます。放課後に保護を受けられない児童のための児童育成クラブの開設、青少年補導センターやヤングテレホンの充実と健全育成環境づくりに積極的に取り組んでいます。

### 2. 青少年施設の整備充実と交流の推進

熊本を一望する金峰山の中腹に「金峰山少年自然の家」、阿蘇大観峰の麓に「あそ教育キャンプ場」、出水2丁目に「総合体育館・青年会館」、新町1丁目に子どもたちが遊び・学び・集う機能を通しながら自主性や創造性、豊かな感性や思いやりの心を養うことのできる「子ども文化会

館」があります。

また、桂林市やサンアントニオ市、ハイデルベルグ市の友好姉妹都市との青少年相互交流、交換留学、文化スポーツ交流、九州各都市との中学生交流、また、福井市との小学生交流など国際・国内交流にも力を入れています。



# 創造的な人づくり

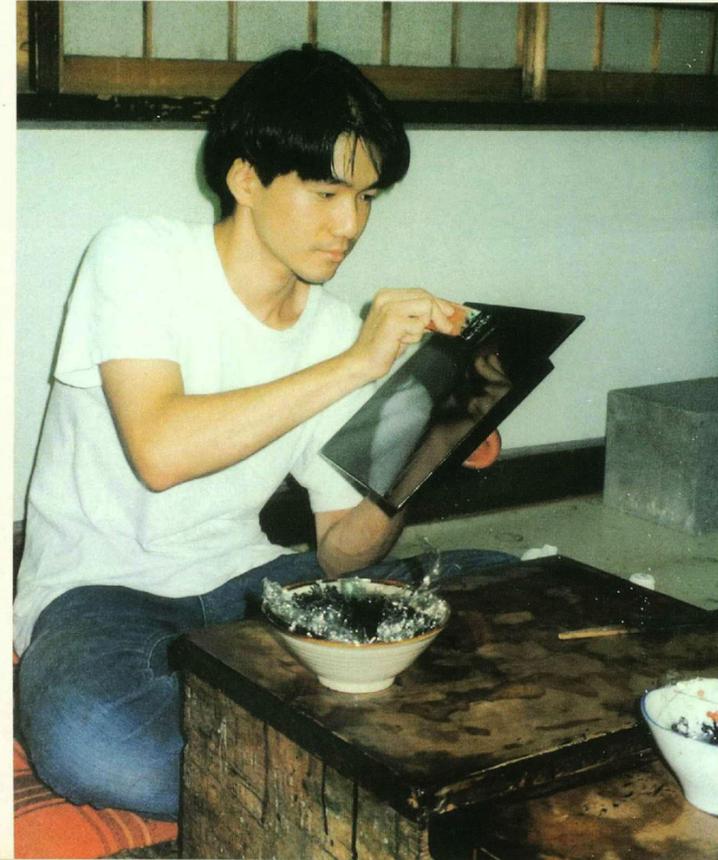
## HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかよまちづくり」

### 人づくり基金

熊本市の市制施行100周年を記念して、多くの市民の方々から寄せられた浄財を基金として創設された「熊本市制100周年記念人づくり基金」は、来るべき21世紀に向けて、熊本市が更に飛躍・発展するために様々な分野で指導者として活躍する国際感覚を備えた創造性豊かな人材を育成することを目的としています。

社会の各分野で積極的に貢献する個人・団体を対象に、平成3年度から毎年2回（前期2月、後期8月）の募集を行い、これまで105件の熱意ある個人・団体の方々が援助を受け、ふるさと熊本のため、それぞれの分野で研鑽を積み、次代を担う素晴らしい人材へと育っています。



漆芸の研修風景



平成9年度人づくり基金ジョイントコンサート



# 消費者行政

## HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかよまちづくり」

私たち消費者は、毎日の暮らしを真剣に見つめ、より一層の「確かな選択」をすることによって“真に豊かなゆとりのある暮らし”を自ら築き上げていかなければなりません。

- 我が国では、昭和43年に「消費者保護基本法」が定められ、その中に消費者の役割として、
- ①みずからすすんで消費生活に関する必要な知識を得ること
  - ②自主的かつ合理的な行動に努めること

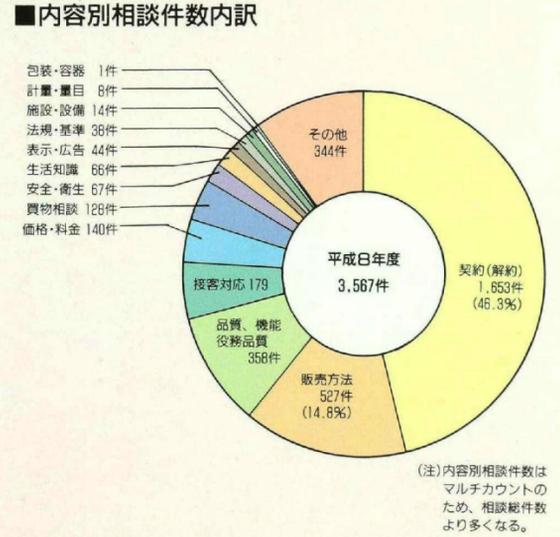
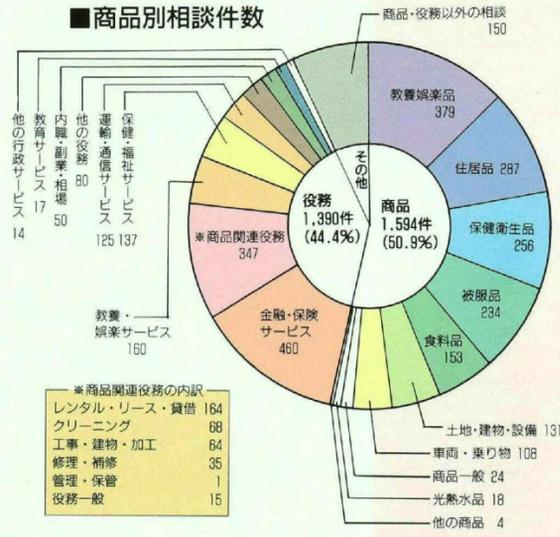
が定められています。消費者センターでは、市民のみなさんの生活をより安全に、より豊かにするため、各種講座の開催などの啓発事業や、消費生活に関する情報の収集・提供、また消費者団体の育成などに積極的に取り組んでいます。

**消費生活相談コーナー**  
消費生活に関する相談窓口を開設し、苦情や問合せにおこたえします。平成8年度に消費者センターに寄せられた消費生活相談は3,134件で、10年前に比べ約2.5倍に増えています。



消費者フェア

消費者セミナー



(注)内容別相談件数はマルチカウントのため、相談総件数より多くなる。



## 男女共同参画社会 HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」



ほくにもできるもん/  
～パパとほくの料理教室



くまもと女性フォーラム'97

本市は、男女が平等な立場であらゆる分野に参加・参画し、ともに協力し支え合う「男女共同参画社会」の実現を目指しています。

そのため、取り組むべき施策を総合的、体系的に整備した『くまもと市女性プラン』を策定し、全庁的な推進を図っています。

一方、地域等での出前講座、市民参加型イベント「くまもと女性フォーラム」の実施、情報誌「はあもに

い」や啓発資料の作成・発行など、女性問題解決や男女平等に関する学習・啓発に取り組んでいます。平成9年度には、5年ごとに実施している市民意識調査を行いました。また、男女共に住み良い社会を作っていくために、政策・方針決定の場への女性の参画を推進すると同時に、能力を地域に還元できる幅広い人材の確保を目的とした、女性リーダーの養成事業を実施しています。その他、

女性グループの活動、ネットワークづくりの支援も行っています。

### 熊本市総合女性センター

男性も女性も共にいきいきと暮らす、調和のある市民社会の実現を目指して、男女の自立や社会参画のための活動と交流の拠点として、また市民文化振興の拠点施設として平成2年4月オープン以来112万人（平成9年1月現在）を越える方々にご利用いただいております。センターで

は、女性を取り巻く社会問題を解決するために、講演会やセミナーの開催、相談室の設置、ファミリーサポートセンター（熊本）による子育て支援活動、また、女性に関する情報の収集提供等とおし、あらゆるライフステージにおける女性の生き方を応援しています。また、センターから生まれる文化と人を目指して、地域に根ざしたいろいろな文化振興事業を展開しています。



## 国際交流 HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」

21世紀に向けて、世界に開かれた国際交流拠点都市を目指す本市は、中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルク市をはじめ、諸外国との友好交流を進め、経済、教育、文化、スポーツ等、さまざまな分野で活発な交流事業を展開しています。

特に、5月には、本市をメイン会場に世界男子ハンドボール選手権大会・熊本が開催され、世界24ヶ国800名に及ぶ選手、役員、報道関係者等が来熊しました。熱戦の舞台になったくまもとの名は世界に広まり、多くの観客、大会ボランティアあるいは学校、地域等に誕生した各チームの応援サポーターが活躍し、熊本から世界へ友好の輪が広がりました。

今後も、地方の国際化は益々進展するものと予想されます。そこで、平成9年度には国際化に関する市民意識調査を実施し、平成10年度にはそれを基に国際交流を総合的・計画的に推進していくための指針を策定するなど、市民の理解と協力を得ながら国際化施策を積極的に展開していきます。

### 中国・桂林市

我が国と一衣帯水の間柄にある隣国・中国桂林市とは、昭和54年10月の友好都市締結以来、様々な分野に亘り友好交流を展開しています。

平成9年度は、市民友好の翼や高校生訪問団並びに留学生を派遣し、

桂林市からは友好代表団や締結以来初めての桂林市民友好の翼を受け入れるなど相互理解と友情を深めました。

平成8年10月の桂林国際空港開港により、国際観光都市である桂林市のさらなる発展が期待されており、両市の交流も益々活発になるものと

予想されます。

### アメリカ・サンアントニオ市

昭和62年の姉妹都市締結以来、教育、医療、スポーツ、経済等の分野において、活発な交流活動を進めています。

このような中、平成9年度には姉妹都市締結10周年を記念して、熊本



'97 男子世界ハンドボール選手権大会





サンアントニオ女子バレーボールチームとの交流試合



インターナショナルサロン

市友好代表団、市議会代表団を派遣し、芸能団と共にフィエスタパレードへ参加しました。また、熊本交響楽団とサンアントニオシンフォニーとの演奏会、経済訪問団・交換留学生の派遣、市民友好の翼相互派遣等、様々な人的交流を行い、相互理解を深めています。また、サンアントニオ市の最先端医療技術を習得するため、医師や看護婦の研修派遣も継続して実施しています。

#### ドイツ・ハイデルベルク市

平成4年5月、30年近くに亘り育まれてきた友情が実り、「平和と環境に対する共通の責任」を理念とする友好都市の盟約を結びました。以来、青少年、医師・看護婦等の相互派遣をはじめ、教育、医療、スポーツ、環境など各分野において交流を展開しています。

平成9年度には、世界男子ハンドボール選手権熊本大会に併せ、青少年ハンドボールチームが来熊し、また夏期にも高校生訪問団が来熊するなど活発な交流が行われました。

今後も、親善交流の推進とともに互いの進んだ技術や諸制度を学び合いながら、両市市政の発展に努めてまいります。

#### 熊本市国際交流会館

国際交流の拠点施設として、1994年9月にオープンした熊本市国際交流会館は、4ヶ国語同時通訳機能を備えた国際会議室とホールや、語学研修室、会議室、レストラン更にはアスレチックジムなどを有し、国際会議、各種講演会、シンポジウム等に幅広く利用されています。また、2階の交流ラウンジには、国内外の

新聞、雑誌、ビデオ、CNNテレビ、インターネットなどによる情報サービスコーナーや、海外留学、日常生活についての相談窓口が設けられ、交流と憩いの場となっています。

この会館の管理運営を委託された財団法人熊本市国際交流振興事業団は、国際理解講座や日本文化体験、日本語教室の開設をはじめ、市民友好の翼の派遣、FMラジオの国際交流番組放送など、多彩な事業を展開しながら、地域の国際化の醸成に取り組んでいます。

## 市民参加のまちづくり

HAPPINESS KUMAMOTO

豊かな人間関係を保つ  
「心のかようまちづくり」

熊本市では、地域における人と人とのふれあい、交流を活発にし地域の活性化・再生を図ることを目的に、市民の創意工夫による自発的で主体的なまちづくり活動を応援しています。

#### まちづくり委員会・まちづくり研究会

市内にある79の小学校区を単位として、住民の新たな発想による地域の特性を活かしたまちづくり活動を行う住民組織「まちづくり委員会」及びその準備的組織「まちづくり研究会」を順次設置していただくことを目標としています。

#### まちづくり活動の支援

平成8年度から「まちづくり活動支援事業」に基づき、組織づくりから実践活動までの過程で、①活動費の助成②指導者・助言者の紹介や交流の場の設定③まちづくり情報の提供や活動事例の紹介などの支援施策を実施しています。

平成9年度は、まちづくり委員会が4校区から10校区に増加し、それぞれの地域の特色を活かしたテーマに基づき、様々な活動が展開されています。また、まちづくり研究会も10校区で発足し、委員会へ向けた組織づくりや研究活動が行われています。



まちづくりシンポジウム



ふれあい夕食会 (北部東校区まちづくり委員会)

グリーン・グリーン大作戦 (向山校区まちづくり委員会)